

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010401030300		事業の種類		4		
年度	1	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業	予算事業名	相生市文化会館管理運営事業	優先度	5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名		教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長		桑名 雅彦		
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載		無		
実施計画事業名		文化会館維持管理事業		文化会館更新事業		主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規		相生市文化会館の設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民						
	誰(何)を対象として	全市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。						
	事業の全体年度	事業着手年度	26(年度)	事業完了予定年度	(年度)			

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	利用件数	件	2,745	2,823	2,817	3,000	
	利用者数	人	163,745	164,270	152,991	160,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	2.371	2.266	96	2.260	100	2.112	93	
	臨時職員	2.018	1.977	98	1.915	97	1.500	78	
支出内訳	人件費	23,985,902	22,689,497	95	21,959,359	97	18,376,125	84	
	事業費	65,677,452	59,639,668	91	55,533,327	93	93,007,000	167	
	合計	89,663,354	82,329,165	92	77,492,686	94	111,383,125	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	12,227,244	10,904,341	89	10,013,603	92	12,719,000	127	
	一般財源	77,436,110	71,424,824	92	67,479,083	94	98,664,125	146	
合計	89,663,354	82,329,165	92	77,492,686	94	111,383,125	144		

※ 事業の進捗状況

項目		29年度	30年度	1年度	2年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

[有効性]

指標名1		文化会館利用状況							
指標説明(式)		文化会館利用人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	180,000	180,000	100.0	180,000	100.0	160,000	88.9	
	実績	163,745	164,270	100.3	152,991	93.1			
指標名2		自主事業来場者							
指標説明(式)		自主事業来場者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5,000	5,000	100.0	6,000	120.0	6,000	100.0	
	実績	4,169	6,170	148.0	5,100	82.7			

【効率性】

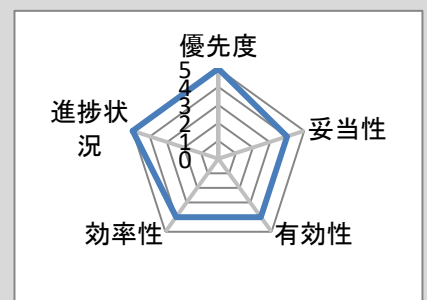
指標名1		文化会館管理事業費							
指標説明(式)		文化会館管理事業費総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,834,000	66,520,000	99.5	62,467,000	93.9	93,007,000	148.9	
	実績	65,677,452	59,639,668	90.8	55,533,327	93.1			
指標名2		利用者1人あたりのコスト							
指標説明(式)		支出合計÷利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	511	508	99.4	475	93.5	696	146.5	
	実績	548	501	91.4	507	101.2			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	市民の交流と文化の向上を図る場としての施設の役割を果たしている。	4
	市民ニーズ	利用者が利用しやすい施設運営を務めた。また、多くの方に参加いただけるような事業の検討を企画委員とともに行った。	
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数については、新型コロナウイルスの流行により、2月、3月のキャンセルが増加した結果、昨年度から減少することとなった。	4
	市民サービス	事業への参加や鑑賞する機会を提供することができた。	
効率性	コストの節減	市民に快適な環境を提供するとともに、経費の節減に努める。	4
	手段の最適性	費用対効果を念頭に置いた管理運営方法を検討した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会をはじめとする市民の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	より多くの人に関心を持ってもらえる、魅力的な事業の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な周知方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	29

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	近隣施設や温水プール、図書館等を参考に指定管理の在り方について検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持